



心 ひびかせ 川北っ子

川上北小だより

5月号

かかわり合い
わかり合い
きき合い
たかめ合い

横浜市立川上北小学校
令和 8 年 4 月 30 日
戸塚区川上町 63-1
Tel 045-822-0845

ky-e-kawakamikito@city.yokohama.jp

人との関わり合いの中で

校長 馬場 弘子

早いもので、令和 8 年度もひと月が過ぎました。クラス替えがあり、担任が変わり、緊張していた子どもたちの表情も、少しずつ和らいてきているのを感じます。先日行われた学習公開・懇談会には、多くの保護者の皆様にお越しいただき、ありがとうございました。保護者の方々に見守られながら、子どもたちはあふれんばかりの笑顔を見せていました。保護者の皆様が日々、深い愛情を注ぎ、大切に育ててくださっていることを強く感じる機会となりました。

4 月 20 日には、「1 年生を迎える会」を行いました。6 年生に手を引かれて入場する 1 年生。在校生は目を輝かせながら、その姿をあたたく迎えていました。体育館に全校児童が集まり、今年度初めて顔を合わせる場となりました。会は、昨年度の運営委員会の子どもたちを中心に進行しました。メダルを作ったり、校歌の歌詞を模造紙に書いたりして、心のこもったプレゼントを用意しました。また、「はじめの言葉」「おわりの言葉」「児童代表の言葉」には、1 年生の入学を全校で心待ちにしていた気持ちが込められており、とてもあたたかな会となりました。進級したことで、一人ひとりが自分の役割を自覚し、成長した姿を見ることができました。異学年交流における「子どもと子ども」の関係は、「大人と子ども」では得られない学びや成長があると感じます。昨年、手を引かれて入場していた 1 年生は、今年は新入生のお手本となる、立派な 2 年生に成長しています。

また、子どもたち同士が助け合い、支え合う姿を目にする機会も多くなりました。困っている友達に自然に声をかけ、その不安を和らげていた 6 年生がいました。さらに、別の友達にも状況を伝え、みんなが安心して活動できるように配慮していました。その姿に、思わず「なんて素敵なのだろう」と感動しました。子どもたちの成長や優しさに触れた出来事は職員室でも話題となり、あたたかな空気に包まれました。まさに、教師冥利に尽きる瞬間です。

もちろん、毎日がこのように成長や優しさにあふれているわけではありません。友達との関わりの中でときには喧嘩をしたり、悲しい思いをしたりすることもあります。しかし、そんなときこそ、子どもたちには「失敗は成功のもと」「トライ&エラー」という気持ちを大切にしてほしいと考えています。人を傷つけたり、嫌な思いをさせてしまったりしたときには、素直に反省し、謝り、相手の気持ちを考えながら話し合うことで、より深い人間関係を築くことができます。これらは、人との関わり方を学ぶ上で欠かせない大切な経験です。



懇談会の冒頭でも、「失敗は成功のもと。トライ&エラーで何事にも挑戦し続けてほしい」というお話をしました。大人も同様ですが、特に小学生の時期は、多くの体験を重ね、たくさん失敗しながらも、あきらめずに挑戦する気持ちを育てていきたいと考えています。まずはやってみる。うまくいかなければ、別の方法で挑戦してみる。

今後とも、保護者の皆様の温かいご理解とご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。